

拝啓 合唱コンクールを頑張った君たちへ

「**せーの**」で**大地を蹴って**ステージに立ったその瞬間、君たちはまるで**運命の向こう**にでも旅立つように、限界のない空へとその歌声を放ってくれました。**夢を追う君**たちは逆境から何度も立ち上がりながら、**サザンカ**のように静かに、しかし確かに咲いていく強さを見せてくれました。**宿命**ってやつを燃やして暴れ出し、**心臓からあふれ出した声**で歌うメロディは、**夢じゃなく、光輝く**現実のものでした。**まちがいさがし**のような日々の中、“これでいいのかな？”と悩んだこともあったでしょう。それでも ^{このメンバー} **君** じゃなきゃいけないとただ強く思い、歌に向き合う姿はひたむきでしたね。**僕** ^{じぶん} **の**ことを信じ、仲間を信じ、精一杯声を重ねる姿に、私たちも「**ああ なんて素敵ない日だ**」と勇気をもらいました。

やがて「**春よ、来い**」と願うように、不安な冬を超え、心に春が芽吹いたあのステージ。君たちの“春”は、確かに私たちの心にも届きました。この曲をいつかどこかで耳にしたとき、**愛をくれし君のなつかしき声**が蘇ってくるでしょう。**地球儀を回すように、飽き足らず描いてくれた君たち**の歌声。その一体感は、この会場を包み込むように温かく広がりました。体育祭から3週間足らずという短い ^{れんしゅうじかん} **時** の重さに流されそうになった時でも、総合金賞受賞を誓った思いを忘れちゃいない、“らしさ”全開のパフォーマンスは、場を和ませるユーモアと、全力の熱さが詰まった最高の**勲章**でした。

悔しさももどかしさも**メラメラとたぎる**力に変えて、全身で音を楽しむその姿には、**ヒーロー**たちのエネルギーがあふれていました。5月の風に想いをのせて歌い上げる**あなたたちがまぶたの裏にいることで、どれほど強くなれたでしょう**。「かわいいだけじゃだめですか？」と問いかける挑戦的な声には、内面の成長や情熱もしっかりとにじんでいて、体育館**中キュン4させちゃう**勢いでしたね。「**ダーリン**」とまっすぐに呼びかけるような、あたたかくて、ちょっぴり照れくさくて、でも本気の想いが、会場に笑顔と感動、**解けない絆**を届けてくれました。

信じ合えることの喜びと、悲しみを知った分優しくなれることを教えてくれた**あなたへ**。空も飛べるはずだと信じて歌った**君たちと出会った奇跡がこの胸にあふれています**。**青いベンチ**に腰かけ語り合った日々も、笑い合った時間も、君たちの青春の大切な一ページとして、ずっと色あせないはずです。**この声が枯れるくらいに**、最後に私たちが一番伝えたいメッセージを届けます。
—感動を、ありがとう—

2025年5月17日 学園点描スタッフ